

平成28年度 三条市国語部 活動報告

部長 高松 有子

1 研究主題

国語の教科書教材を扱う授業での授業改善の考え方や方法

2 研究の概要

(1) 講話

- ① 演題 「新教科書教材を扱う授業での授業改善の考え方や方法及び、国語での資質能力の育成の考え方と他教科・領域との関連について」
- ② 日時 6月24日(金) 14:45～16:45
- ③ 会場 三条市立大島小学校
- ④ 講師 新潟県教育委員会 中越教育事務所 指導主事 小林 徹哉 様

(2) 授業公開・協議

- ① 単元名 「たからものをしょうかいしよう」(東書2年)
- ② 日時 9月30日(金) 14:00～16:45
- ③ 会場 三条市立嵐南小学校
- ④ 授業者 三条市立嵐南小学校 本間 博 教諭

3 研究の実際

(1) 講話

「授業改善のポイント 2016」の内容を中心に、今までの「授業改善のポイント」で示されてきた内容について、授業改善の考え方や方法を、国語の新教科書教材を具体的に扱いながらご講話をいただいた。また、国語での資質能力の育成については、論理的思考力の育成のための「根拠・理由・主張」の3点セット、「言語技術が国語学力の中核」といったことを教科書教材や学校訪問での事例からご指導いただくことができた。

会員からは、『文章を論理的に読む』『論理的に考える』という責任教科という意識をもって、毎日の授業に臨みたい、「毎時間身に付けさせたい力を考えて、子どもたちが納得する授業づくりが大切」等、授業改善のための視点を獲得することができたという声が多かった。

(2) 授業公開

自分の宝物を中学生に紹介するという、中学生との共同授業の形で公開を行った。「Show and Tell」形式であり「話す・聞く」領域であることから、子どもたちは作文ではなくスピーチメモと実物を持ってのスピーチを中学生に工夫して聞かせていた。

協議会では、子どもたちが本時の自分をどう振り返るか、そのためにどのような手立てが必要かということが中心に進められた。「話す・聞く」単元における評価の視点、子どもの言語技術や意欲をさらに伸ばすための手立てについて熱心な協議が行われた。

会員の感想からは、「小中一体校の良さを活かしている」、「評価項目が子どもの意識や実態に合っていた」、「中学生のアドバイスが2年生の発表をよりよくしようという視点に立っていた」という声が寄せられた。



4 成果と課題

今年度は、第1回目が講話、第2回目が授業公開という形を取ることで、講話で得た授業改善の視点を会員自らの日常実践に落とし込むことができ、さらに授業参観によって会員それぞれが自らの成果と見比べながら研修を深めることができた。今後も今年度のように日々の授業改善に役立つ研修を続けていきたい。